

平成27年度 燕市西蒲原郡音楽部 活動報告

部長 宮本 均

1 研究主題

音楽に親しみ、豊かに表現するための指導の工夫

2 研究の概要

- (1) 第1回「教科書改訂のポイント」についての講習会
(期日 6月3日(水) 会場 燕南小学校 音楽室)
講師 作曲家 佐井 孝彰 様

- (2) 第2回 授業研究会
(期日 12月3日(水) 会場 燕東小学校 音楽室)
授業者 川上 慶子 教諭(燕東小学校)
題材名 第4学年「思いや意図をもって、表現しよう」
(2/6時間)
指導者 井出 治美 様(加茂市立加茂西小学校校長)



3 研究の実際

- (1) 第1回「教科書改訂のポイント」についての講習会

新しくなった教科書教材を使って、指導の進め方や学習指導要領のねらいを実現させるためのポイントをご指導頂いた。講習は、歌唱やリコーダー、鍵盤ハーモニカのアンサンブルなどの実技を中心に行った。講師のお話から、教材の曲の指導だけでなく、作曲者の思いや願いも知ることができ、有意義な研修となった。

- (2) 第2回 授業研究会

導入では、歌詞の内容を味わいながら『赤いやねの家』を歌い、さらに気持ちを込めて歌うために「曲の特徴を見つける」という課題を提示した。課題解決の手立てとして、グループで「旋律線」を書く活動を取り入れ、それを手掛かりに曲の特徴に気付かせるという活動を行った。こうした活動により、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。

その後の協議会では、「曲想を捉えるには、旋律線が有効である」という意見が多く出された。その反面、旋律線よりも歌詞から思いを膨らませている場面も見られたという意見が出された。指導者の井出治美先生からは、前学年からの内容のつながりに配慮すること。歌い方の工夫をするためには、授業をどのように構成すればよいかといったことについてご指導を頂いた。



4 成果と課題

【成果】 題材のねらいをしっかりと確認し、系統を意識しながら授業を組み立てていくことが大切であることを学んだ。また、学習の過程で、対象となる楽曲の特徴を子どもが把握できるようにすることや多様な学習形態を取り入れることが課題を解決するポイントであることについても学ぶことができた。

【課題】 表現を深めるためには、学習状況を踏まえた指導や思考を促すための工夫を講じることが大切である。表現の追求が、言葉のやり取りだけにならないように、音楽活動と言語活動の往還を図りながら、学習の質を高めていけるように授業を展開していきたい。